

# 愛知民報

2020年  
9月13日  
第2506号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目 12 番 25 号

愛知あかつき会館内

☎(052) 251-2925 F A X(052) 261-606

定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円

毎週日曜日発行（第5日曜日は休刊）

1966年7月31日第三種郵便物認可

Digitized by srujanika@gmail.com

週刊

**愛知民報を  
周りの人に**

# 「表現の不自由展・その後」



「表現の自由を守れ」「憲法違反の検閲を許すな」「大村知事リ「ール運動反対」とアピールしながら行進する人

# 自由抑圧に怒り 市民立ち上がる

表現の自由に口は出せない  
「表現の不自由展・その後」をつなげる 愛知の会共同代表、愛知大学教授 長峯信彦さん

しても美術にしても  
言語による表現を取  
らないわけです。受  
け取る側がどう受け  
取るかは、作者・作  
曲者の意図から大き  
くかけ離れてしまう  
ことがあるわけで  
す。

つまり、芸術作品  
を一義的にどうい  
うことだと決めつけ  
ることはできないと  
うことです。憲法  
書いてあることでは  
り、法律学を学ん  
だことがある人なら、  
ことわざであります。  
このことわざは、大村  
知事はそれを語ったた  
だつたからです。で  
す。

例えればベートーベ  
ンは、身分制度・貴  
族支配反対の思想を  
持っていました。当  
時の音楽家は王様や  
貴族たちの下働き  
かる。大村知事は、  
言語による表現では  
ありません。音楽に

# 侵略戦争と植民地支配を 肯定・美化

高須氏は2015年、ツイッター上で「南京大虐殺の捏造論者も捏造だと思う」と発言しました。アウシュビッツはナチスドイツによるユダヤ人大量殺りく（ホロコースト）の絶滅収容所で、収容所跡は1979年にユネスコ世界遺産に登録されました。高須氏のツイートに対し、アウシュビッツ記念館は2019年、「アウシュビッツは史実」と日本語で異例の忠告をおこないました。

南京事件は1937年—38年に旧日本軍が中国南京市でおこなった民間人を含む大虐殺。河村市長は2012年、友好都市であった中国・南京市の訪問団が名古屋市を表敬訪問した時に「南京事件はなかったのではないか」と発言。また、旧日本軍「慰安婦」の強制性を否定しています。

高須氏と河村市長は歴史の改ざんで相通じていました。

# 憲法違反の検閲許さない

**【憲法21条（抄）】**①一切の表現の自由は、これを保障する。②検閲は、これをしてはならない。**【文化芸術基本法前文（抜粋）】**「我が国の文化芸術の振興を図るために、文化芸術の確たる表現の自由の重要性を深く認識し、文化芸術活動を行う者の自主性を尊重する」と